
「韓国 WiBro 市場の現状と将来展望 2009 年版」

移動体通信・IT専門の調査会社である株式会社エムシーエイ (<http://www.mca.co.jp/>) では、2009 年 3 月日に調査レポート「韓国 WiBro 市場の現状と将来展望 2009 年版」(価格:73,500 円/税込み)を発刊しました。

2009 年 2 月から、日本ではUQコミュニケーションズによるMobile WiMAXのトライアルサービスが開始しました。このMobile WiMAXと同じ「IEEE802.16e」に採択されているのが、韓国で開発された「WiBro(ワイプロ)」です。2.3GHz帯を使用してサービスされており、120Km/hでの移動中でも上り最大 10Mbps、下り 37Mbpsの通信速度を実現します。WiBroは韓国政府による国策により開発された規格です。IT分野の発展と、世界に輸出できる技術開発を目的に、2002 年に概念が固まり、2005 年には試演に成功しました。2006 年 6 月からは商用サービスが開始され、さまざまな料金性や端末、サービスが提供されています。

ただし 2008 年末の WiBro の加入者は、約 18 万人。2008 年までに約 100 万人の加入者を確保という予測値の 5 分の 1 以下という低い水準にとどまっています。そこから韓国に根付いているインターネット利用の文化が見えてきます。1つに固定ブロードバンド回線の普及率が大変高く、町には安価に利用できるインターネットカフェが溢れていること。次に携帯電話を含む、無線インターネット利用で発生する料金に対する負担感が大きいこと。そしてノートパソコンの普及率が高くないことが挙げられます。こうした市場状況で WiBro を普及させるのは困難を極めることで、約 18 万人というのは見方によっては多いとも言えます。

しかし最近、ネットブックや MID(Mobile Internet Device)の登場で、市場状況が少しずつ好転しつつあります。WiBro サービス事業者はネットブックメーカーと手を組み、WiBro の新規契約と同時にネットブックを購入した人を対象に、既存価格の約 20%引きで購入できるセット販売を行っています。これが人気を得たのがきっかけで、多くの加入者を誘っています。韓国では PMP(Portable Multimedia Player)や NP3 プレーヤーも市場に根付いていますが、これらよりも高機能である一方、ノートパソコンよりも安価で持ち運びやすいという位置付けの良さが功を奏しているようです。

WiBro が国策である以上、加入者が少ないとって簡単になくすわけにはいきません。政府はもちろんのこと、WiBro サービス事業者、メーカー、コンテンツ事業者も普及に力を注いでいます。サービス事業者が他社と手を組み技術開発組織を結成したり、政府では WiBro 関連に関する規制緩和を断行しました。

本レポートでは、WiBro が韓国市場においてどのようなビジネスモデルでサービスされているのか、ネットブックや MID は韓国市場で普及し WiBro の加入者増につながるのか、企業や政府による WiBro 戦略にはどのようなものがあり、どの程度の可能性を持っているのかといったことを明らかにしていきます。WiBro を取り巻く、市場・政策・企業戦略といった環境的要因も含めつつ、説明していきます。

調査対象先

<調査対象通信キャリア>

- (1) KT
- (2) SK Telecom

<調査対象通信インフラ機器>

- (1) WiBro 基地局
- (2) WiBro 専用端末メーカー
 - ・USB モデム
 - ・スマートフォン
 - ・PMP
 - ・PC
 - ・ナビゲーション
- (3) ネットブック、MID メーカー

調査結果抄録

韓国では、デスクトップ PC を用いて自宅で接続する人が圧倒的に多い。無線通信を使わずとも十分に自宅のブロードバンド回線で事足りている環境が整っており、WiBroの利用者が少ない理由の一つとなっている。

インターネット接続端末（単位：％）

インターネット 利用者	デスクトップ PC	携帯電話	ノートPC	インターネット 接続可能なTV	インターネット 接続可能な ゲーム機	PDA
100.0	98.8	68.0	23.5	6.7	5.3	0.3

複数回答

出所：韓国インターネット振興院「2008年 インターネット利用実態調査」

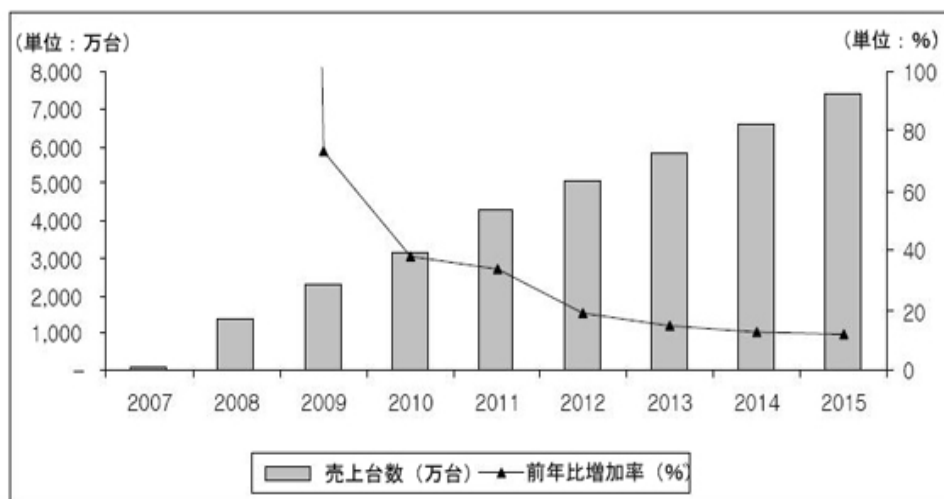
インターネット利用場所（単位：％）

インターネット 利用者	家庭	会社	場所の 区分なし	学校	商業的 公共接続 施設	他の人の 家	その他 教育施設	非商業的 公共接続 施設
100.0	98.5	39.4	18.7	17.1	13.9	6.1	3.5	2.5

出所：韓国インターネット振興院「2008年 インターネット利用実態調査」

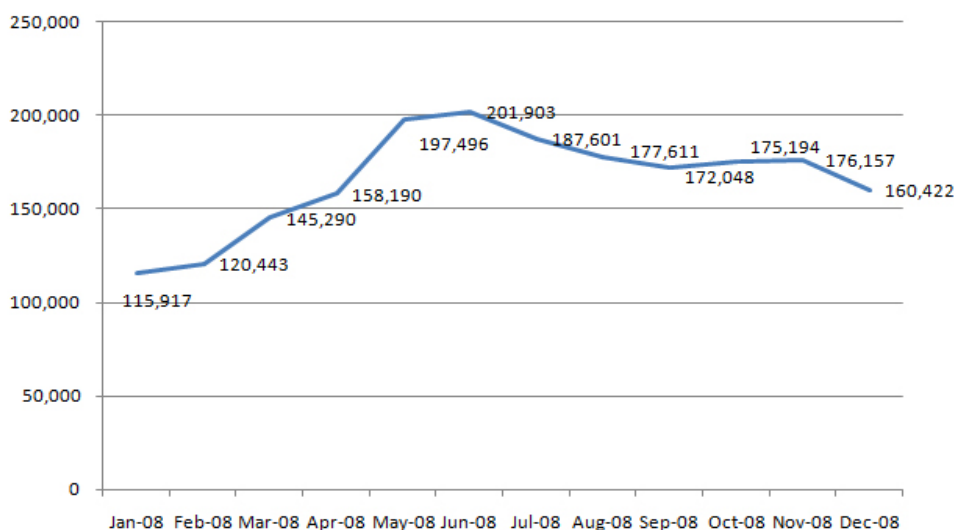
しかし最近、ネットブックや MID が人気を博すことで、市場は上向いてきている。WiBro サービス事業者の KT では 2008 年、利用者数は下降気味であるものの、ARPU と利益は増加するという成果をあげた。WiBro の新規契約によりネットブックを安価に販売するプログラムで多くの加入者を誘致したことなどがその要因として考えられる。

ミニノート PC 市場の展望



出所：Displaysearch (2008 年 9 月)



KT の WiBro 加入者数



KT の加入者数は常に、WiBro の全体の加入者の 8~9 割程度を占めている

KTでは協力社とともに「Biz Alliance」を組織。ここではおもに MtoM (Machine to Machine) によるビジネスモデルとそれに関するシステムや端末を開発、実際にサービスされているものもある。

Biz Alliance によるサービス一覧

サービス名	写真	説明
Wチェックライン		クレジットカード決済機にWiBroモデムを装着。既存の電話回線では10秒程度かかっていた決済が、5倍程度素早く行える。料金は月1万ウォン/1G。1万ウォンの範囲内で300万件の決済が可能で、従来の39ウォン/件よりも安価。
バスPC房		ソウルとその郊外をつなぐ1,000台のバスに、WiBroモデムを装着したタッチスクリーン形式のPCを設置。バス内でインターネットができるようにする。500ウォン/15分、1,000ウォン/35分で利用でき、決済は交通カードで行える。
名前	内容	
W Kiosk	図書館、デパートなど、公共施設に設置されている案内端末にWiBroモデムを装着。リアルタイムで情報更新が行えるようにする。	
タクシー動画広告	タクシーの前部座席の後方に画面を設置。WiBro通信により動画広告を放映する。	
Wオフィス	オフィス内にWiBroシステムを構築。オフィス内では、オフィス用WiBroシステムに接続し、オフィス外では既存のWiBro網に接続するサービス。	

上部が実際にサービスされているもの、下部が今後サービス予定のもの

一方、政府では、これまでデータ通信のみ可能だった WiBro サービスで、音声通話が可能なよう規制緩和を行った。音声通話サービスでは、携帯電話と同様の「010」の局番がつけられる予定。大容量データ通信と音声通話が可能な WiBro 電話で市場の活性化を目指す。また WiBro による MVNO の実施にも期待がかかっている。

WiBro は国策により開発された技術で、世界市場をターゲットとしているため、今後も加入者が少ないという理由でサービスをなくすということは当面ありえない。むしろ WiBro Evolution などの次世代規格でさらなる世界市場拡大を狙っており、そのために技術輸出に余念がない状態だ。

国による規制緩和が進み、ネットブックのような人気端末が出たことを受け、今後 WiBro 市場は好転していく余地が十分にあるといえる。

調査資料の詳細

発行日:2008年4月

判型:A4 コピー刷り製本 62 頁

発行・販売:株式会社 MCA

〒117-0022

東京都豊島区南池袋 3-18-30 ファースト日野ビル 4F

TEL03-5928-5925/FAX03-5928-5921

URL . <http://www.mca.co.jp> E-mail . info@mca.co.jp

頒価:73,500 円(税込み)

調査期間:2008年12月~2009年2月